

区民のみなさんと実現

日本共産党

2014年度 目黒区施策

4月からの消費税増税で区民生活に不安が広がっている今こそ、目黒区はくらしの防波堤としての役割を発揮すべきです。しかし、区の新年度予算は、100億円の貯金（積立金）をつくるため、「財政健全化」を口実に区民生活カットと負担増が盛り込まれました。一方で、日本共産党が区民のみなさんと取り組んできたさまざまな要求が実現しています。引き続きみなさんと力を合わせて、いのちと暮らしが最優先になる目黒区に変えるためがんばります。

防災街づくり

リフォーム助成の拡充

住宅リフォーム助成制度の助成率が5%から10%へ拡大。

耐震設計助成新設

耐震制度の拡充を求め続け、耐震改修工事とともに使える耐震設計費への補助がつけました。木造住宅改修とセットで最大170万円。



子育て

認可保育園など300人の定員枠拡大

認可保育園3園の新規開設など、保育園の定員が4月から300人拡大。

子どもの給食食材の放射能検査が継続

保育園、こども園、小中学校などでの給食食材を対象に、外部機関と碑文谷保健センターでの検査を引き続き実施。

障がい者

児童発達支援センターが創設

すくすくのびのび園の通所支援機能に加えて、発達に関する相談などに応じる18歳までの系統的支援が実現。

障がい児放課後デイサービスの増設

障がい児の放課後を支援する区内2園目の施設が実現。事業者募集になります。

介護



区立小規模多機能・認知症デイが新設

田道ふれあい館を活用した介護施設がオープン。

孤立死防止生活リズムセンサー拡充

一人暮らし高齢者支援の生活リズムセンサーの設置が75歳以上に拡大。

1000人

特養ホーム待機者 実態調査に ご協力ください

在宅での介護が難しくなった場合に介護保険で利用できるのが特別養護老人ホームです。ところが目黒区では、整備が遅れているために1000人も入れずに待っています。

日本共産党は、特養ホームを建設させるため、待機者の実態調査を行い、7月に結果を発表する予定です。特養ホームの入所を待っているみなさんの調査へのご協力をお願いいたします。

■連絡先：日本共産党目黒地区委員会
(TEL 3714-6431 FAX 3714-6434)

日本共産党

目黒区議団ニュース

2014年4月号 日本共産党目黒区議団

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

TEL 03-3715-1111 (内線3030) FAX 03-5722-9344

メール jcpmkd@topaz.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.jcpmkd.jp/>

ご意見をお寄せください

区内の認可保育園に入れない 958人

日本共産党目黒区議団は3月20日、区に対し待機児童急増という事態を早急に改善するよう次の対策を要望しました。

1. 4月からの保育先を緊急に確保するために
 - ①認可保育所の保育士を増員し、定員拡大を早急に行うこと。
 - ②定期利用保育の実施箇所を、目黒区の責任でさらに増やすこと。
 - ③区有施設・用地を全庁挙げて調査し、臨時の代用施設ができないか検討すること。
 - ④未利用の国・都施設・用地などの情報を収集し、臨時に借用できるものはないか検討すること。
2. 「子ども総合計画」の改定待ちにせず、速やかに2015年4月に向けての認可保育所を中心にした受け入れ枠拡大の計画をつくること。
3. 育児休業中の入所申し込みについての規制をなくし、いつでも申し込みできるようにただちに改善すること。



緊急対策求め区に申し入れ

日本共産党

「第二子をあきらめた」など深刻な声があがっています。「職場復帰できない」「認可外保育園の保育料は月10万円、高い保育料で家計は限界」「第二子をあきらめた」など深刻な声があがっています。



「認可保育園増やして」と父母らがパレード。
1万1000人分の署名を提出＝昨年12月、目黒区

今年4月の目黒区内の認可保育園入園希望者に対する最終選考が行われました。募集枠は0歳児から5歳児合わせて814人。最終選考の結果958人が入園できないことが明らかになりました。入園希望者の過半数が入園できなかったこととなり、昨年と比べ148人も増えました。

40年かけ区有施設を削減

これでは区民の暮らし大後退

目黒区はこのほど、区有施設の見直し方針をつくりました。内容は施設の充実という区民の要望とは正反対で、40年かけて区有施設（総延床面積52万㎡）を15%（7・8万㎡分、学校10校分程度の面積）削減する計画を打ち出しました。

そのうえ、認可保育園や特別養護老人ホームなどに入れない乳幼児やお年寄りが多数いるにもかかわらず、新規施設はつくらないことを原則にしています。これでは、区民の切実な要求に応えられず、区民生活を後退させてしまうことになります。

また、施設を大規模改修や建て替えを行うときは、一つの建物の中にいくつもの施設を設置

するという方式にすることもめざします。現在ある施設が、強引に統廃合されてしまう可能性がありま。身近な施設が遠のいてしまうことになります。

施設の老朽化対策こそ必要

区は大幅な施設縮小方針を打ち出したことについて、区有施設がいっせいに大規模改修や建て替えの時期を迎え、お金がかかることを理由にしています。しかし、区民の生活を豊かにし、福祉や子育てを充実し、地域コミュニティを発展させるためには施設が不可欠です。施設の老朽化対策こそ中心に据えた計画が必要ではないでしょうか。

区民参加を 実現させよう！

そもそも区の方針は、施設を減らすべきだという考えを持つ有識者会議の意見書を鵜のみにしたものです。区は区民の意見を聴取したと言いますが、方針づくりへの区民参加の機会がまったくないまま方針をとりまとめたことは、区民不在と言わざるをえません。

これから、住区センター、社会教育館、区民センター、青少年プラザ、男女共同参画センター、学校施設など、具体的に施設をどうするのかという計画づくりに取り掛かることになります。区民の大切な財産である区有施設の将来を区民自身が決められるよう力を合わせましょう。

日本共産党目黒区議団

無料 法律・生活相談
困った時はいつでもどうぞ

- 毎月第3木曜日午後2時～3時半
- 区役所5階日本共産党控室 ☎(3715)1111 (内)3030
- 各区議地域でも随時行っています。お問い合わせ下さい。



区議会議員
星見てい子
☎152-0003
目黒区大岡山1-19-6 A
☎080-1608014531



区議会議員
岩崎ふみひろ
☎152-0002
目黒区目黒本町6-4-11 405
☎080-3424-1200



区議会議員
石川 恭子
☎153-0052
目黒区祐天寺2-19-15
☎(3711)9735



区議会議員
森 美彦
☎153-0043
目黒区東山1-12-11
☎080-173515792